

社会福祉法人ことぶき令和4年度事業報告書

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

区分	開催日	出席	監事	議案
第1回	6月8日	7名	2名	① 令和3年度下半期理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 ② 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認 ③ 就業規則の変更の承認 ④ 理事候補者の選任 ⑤ 定時評議員会の開催内容
第2回	11月9日	7名	2名	① 令和4年度上半期理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告 ② 令和4年度上半期事業活動収支状況報告 ③ 非常用自家発電設備工事についての説明
第3回	3月22日	7名	2名	① 令和4年度補正予算の承認 ② 令和5年度事業計画及び収支予算の承認 ③ 新型コロナウイルス感染症クラスター発生状況報告

(2) 評議員会の開催状況

区分	開催日	出席	監事	議案
定時	6月23日	8名	1名	① 令和3年度事業報告 ② 令和3年度計算書類等の承認 ③ 理事及び監事の選任

2. 職員状況

(1) 退職者6名

- 介護老人福祉施設：介護士4名（正規）
- 通所介護：介護士2名（時間給）

【退職理由】 転職1名、人間関係2名、家庭の事情2名、健康上1名

(2) 採用者8名

- 介護老人福祉施設：介護士（正規）6名（時間給）1名
- 通所介護：介護士（正規）1名

3. 防災対策・設備管理等

- (1) 消防訓練の実施 4月20日 夜間想定（施設のみ） 10月12日 昼間想定
- (2) 設備点検の実施 灯油地下タンク、電気、EV、給湯、浄化槽、消防設備等

4. 寄付受入れ状況

月	寄付内容	氏名又は団体名
1月	ウェットティッシュ120袋	波志江町一丁目

5. 健康管理

(1) 入所者（入居者）

- 6月～7月 後期高齢者健診 5月20日 結核健康診断（胸部レントゲン）

(2) 職員

- 6月15日 全職員対象定期健康診断及びストレスチェック
(介護職員は腰痛健診) / 伊勢崎佐波医師会病院検診センター)
- 2月 介護老人福祉施設常勤介護士健康診断 / 山田内科クリニック

6. 主な設備、備品等購入

【自家発工事除く総額】 7, 090, 000円

内 容	事業種別	金 額
第5期介護用ベッド更新12台	介護老人福祉施設	3, 080, 000円
眠りSCAN 9台	介護老人福祉施設	1, 300, 000円
車椅子・ストレッチャー更新	介護老人福祉施設	830, 000円
給湯機更新	介護老人福祉施設	380, 000円
送迎車両更新	訪問介護	1, 500, 000円
非常用自家発電設備工事	法人	24, 630, 000円

7. 事故発生状況 29件（前年比-14）

事業所	転倒転落	誤 嚥	介護ミス	計
介護老人福祉施設	13	0	7	20 (-11)
ケアハウス	1	0	0	1 (-2)
通所介護	3	0	1	4 (+3)
訪問介護	0	0	0	0 (±0)
短期入所生活介護	4	0	0	4 (-4)

《骨折等重大事故の概要》 7件（前年比±0）

事業所	年 齢 介護度	骨折部位・状況等
介護老人福祉施設	89歳女性 要介護5	〈左大腿骨骨折〉入浴介助時に左膝内側に内出血あり。痛みと熱感、腫脹が認められたため、整形外科受診し大腿骨骨折と判明。保存療法と数回の通院で、現在は完治している。

	94 歳女性 要介護 5	〈左大腿骨骨折〉午前中、下肢を良肢位に戻す際「ポキッ」と音がした。直に整形外科を受診し大腿骨骨折と判明。手術はせず施設で保存療法となるが、その後病気のためご逝去される。
	89 歳女性 要介護 5	〈右大腿骨骨折〉夜間、直接介助時に顔を歪められていた。翌朝、浮腫みと熱感を生じた為、整形外科受診し大腿骨骨折と判明。シーネ固定で施設へ戻られ、通院治療を重ね現在完治している。
	82 歳男性 要介護 4	〈右大腿骨頸部骨折〉夕食前、トイレへ行こうとして転倒。腰部周辺の痛みが継続した為、整形外科受診し大腿骨頸部骨折と判明し手術入院となる。退院後は、活発に歩かれている。
	90 歳女性 要介護 4	〈左鎖骨骨折〉夕食前から不穏となり、見守り中に車椅子から立ち上がり、バランスを崩し転倒。朝まで痛みが継続している為、整形外科を受診。鎖骨骨折と判明。保存療法で通院加療中となっていたが、現在は完治している。
短期入所生活介護	89 歳女性 要介護 1	〈第一腰椎圧迫骨折〉昼食後ベッドから歩き出し時に、しりもちをつく。痛みが継続している為、整形外科受診し第一腰椎圧迫骨折と判明。保存療法で 2 か月程入院し施設に戻られ、現在は完治している。
通所介護	83 歳男性 要介護 3	〈左手親指末端骨折〉デイサービス利用中、椅子から立ち上がった際にフラつき転倒、その際に指をついた模様で受傷、直ちに整形外科受診し骨折の診断を受ける。保存療法となるが重度の認知症のため固定部位を外してしまう等の行為あり、完治まで 1 か月半を要した。

8. 苦情対応状況 0 件（前年比±0）

9. 利用者状況

事業所	延利用人数	一日平均	稼働率	平均介護度
介護老人福祉施設	16,947人 (-424)	46.4人 (-1.2)	93% (-2)	4.4 (-0.1)
ケアハウス	5,428人 (+432)	14.9人 (+1.2)	99% (+8)	1.4 (+0.4)
通所介護	5,920人 (-259)	19.5人 (-0.5)	78% (MAX25名で)	2.0 (-0.1)
訪問介護	2,132件 (-755)	6.9件 (-2.4)	—	1.2 (-0.3)
短期入所生活介護	2,862人 (-355)	7.8人 (-1.0)	78% (+10)	3.2 (-0.2)
居宅介護支援	1,573人 (+44)	月131.0人 (+3.6)	—	1.9 (±0)

10. ボランティア及び実習生受入状況

(1) ボランティア

- 伊勢崎興陽高校 花と緑で環境を創る系列2年生 花壇の植栽 6月、11月
- ケアハウス 市立第三中学校地域奉仕団2名 創作品の受領等

(2) 実習生 8名

- 介護老人福祉施設 東京福祉大学 介護実習 2名
- 介護老人福祉施設 新田暁高校 初任者研修 4名
- 通所介護 東京福祉大学 ソーシャルワーク実習 1名
- 通所介護 新田暁高校 初任者研修 4名

11. 職員研修実施状況

(1) 施設外研修

開催月	事業所	研修内容	開催方法
5月	居宅介護	介護予防業務	集合
8月	居宅介護	薬剤師との連携	集合
	居宅介護	ケアプラン作成	動画配信
	介護老人	安全対策担当者養成研修	Zoom
	居宅介護	地域における福祉課題	集合
9月	居宅介護	防災研修	集合
10月	介護老人	高齢者のスキントラブル	動画配信
	居宅介護	事例検討会	Zoom
	居宅介護	他職種協働	集合
11月	介護老人	入退所手続き等対応	動画配信
	ケアハウ	防犯対策	動画配信
12月	居宅介護	認定調査員現任研修	動画配信
	ケアハウ	感染症 BCP（業務継続計画）作成	Zoom
	介護老人	感染症 BCP（業務継続計画）作成	Zoom
2月	居宅介護	ケアプランデータ連携システム	動画配信
3月	通所介護	科学的介護情報システム「LIFE」について	動画配信
	介護老人	苦情解決セミナー	動画配信
	ケアハウ	情報交換会	Zoom

(2) 施設内研修

月	介護老人福祉 短期入所生活	ケアハウス	通所介護	訪問介護	居宅介護支援
4月	喀痰吸引及び 緊急時対応	リスクマネジ メント①	利用者との交 流	倫理及び 法令遵守	
5月	リスクマネジ メント①	感染症予防①	リハビリ①	接遇	倫理及び法令 遵守
6月	個人情報保護 ハラスメント	身体拘束 高齢者虐待①	法令遵守	苦情対応	
7月	食中毒予防 口腔衛生	倫理及び 法令遵守	廃用性症候群	感染症対策	プライバシー 保護
8月	褥瘡予防	苦情対応	非常災害時の 対応	コミュニケー ション力向上	
9月	苦情処理 BCP①	個人情報プラ イバシー保護	食中毒・感染 症予防	認知症ケア	感染症対策
10月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待①	リスクマネジ メント②	認知症ケア	ターミナルケ ア	
11月	看取り介護	感染症予防②		リスクマネジ メント	高齢者虐待
12月	リスクマネジ メント②	認知症対応	接遇	緊急時対応	
1月	感染症予防	身体拘束 高齢者虐待②	個人情報プラ イバシー保護	プライバシー 保護	認知症及び認 知症ケア
2月	身体拘束ゼロ 高齢者虐待②	緊急時対応	リスクマネジ メント	高齢者虐待	
3月	業務改善 BCP②	サービス向上	リハビリ②	事業所及び自 己評価	居宅介護支援

12. 年度総括

(1) 法人全体

① 介護人材の確保

令和4年度は8名の採用者の内、新卒を除く7名が介護現場の経験者（介護福祉士6名）ということで、採用面では充実した年となっている。またハローワークの紹介は2名のみで、4名がホームページを見ての応募とスマホでの閲覧を容易とした改善の成果が認められる。また新たに設けた資格取得支援制度も新卒1名が活用し、初任者研修を修了している。

② ICT（情報通信技術）化による業務効率の向上

データ入力の省力化を目指し、介護・看護現場にタブレット及びソフトの導入を行ったが、未だに使用方法がスタッフに定着せず、十分に活用されていない状況となっている。離床センサー付きベッドについては、夜間の転倒防止が減少していることから、一定の成果を得られていると評価できる。

③ コロナ禍での事業展開の確立

昨年末まで入所者の感染者は一人もおらず、コロナ対策も万全かと思われたが、年末年始にかけてクラスターが発生し多くの感染者を出すこととなってしまった。蔓延の原因は感染者の発見が遅れたことにあると考えられるが、抗原検査の徹底やゾーニング（感染者の居住空間）の見直し等今回の経験を生かして見直していきたい。

(2) 介護老人福祉施設

【入所】 17名（+8） 【退所】 17名（+9）

年間を通して感染症対策を強化し8月からは毎週職員の抗原検査を実施するなど予防に努めてきたが、年末第1号感染者の発見からわずか4日間で40名を超える発症者が出るなど、クラスターの及ぼした影響は大きく、入院者・退所者の増加等今なお不安定な状況が継続している。多床室中心の居室体系や共有空間の多さは、大クラスターに直結することを再認識し、感染症を入れないことに全力を注ぎたい。

(3) ケアハウス

【入居】 2名 (±0) 【退居】 2名 (+1)

年末年始にかけて1名の職員と2名の入居者がコロナに感染し、内1名の入居者が入院先で亡くなるなど、外出・面会等制限していただいただけに残念な結果となってしまった。しかしながら感染者の少ない期間には外出行事や外食等も実施し、入居者に喜んでいただけたのは「楽しみのある生活」という面でも良かったと感じている。また、筋力維持の体操や脳トレ等のプログラムも日課に取り入れ、介護予防としての役割を果たしている。

(4) 通所介護

【新規】 34名 (+8) 【終了】 36名 (+11)

12月及び1月に利用者からコロナ発症者が出たために計7日間営業自粛した影響で、実績が大きく落ち込む結果となってしまった。またコロナが落ち着くまでということで利用を控える方もおり、利用者増には結びつかずに厳しい状況が続いている。しかし個別性を重視したケアの提供という面では、リハビリやレクリエーション等一人ひとりと向き合ったサービス提供が可能であり、利用者や家族から喜びの声をいただいている。

(5) 訪問介護

【新規】 9名 (-6) 【終了】 8名 (+1)

年度前半は入院や入所による利用中止が続き実績も低迷したが、後半は新規利用者や再利用者が増加したことにより回復傾向となっている。そんな中ヘルパー5名中3名が新型コロナの家庭内感染により療養することとなったが、利用者への感染もなく派遣への影響も最小限で経過することができている。ケアマネ等関係機関との情報共有も良好で、利用者の変化や要望等の伝達も遅滞なく行えている。

(6) 短期入所生活介護

【新規】 23名 (+6) 【終了】 11名 (-1)

新型コロナウイルス感染症対策として、入所時の抗原検査の実施は継続して行っており、現在まで利用者からの感染は見られていない。しかし年末年始のクラスターの影響で2月まで新規利用者の受入れを中止したために介護老人福祉施設同様に大きく前年度を下回る実績となってしまった。

(7) 居宅介護支援事業

【新規】 38名 (-13) 【終了】 38名 (+9)

介護予防教室「おたっしゃクラブ」を3年ぶりに再開、感染者の落ち着いている時期に6回開催し地域の高齢者の身体機能の維持や楽しみづくりに貢献している。また関係機関との連絡にメールやFAXを多用し、感染症流行期にも円滑な情報共有が図れるよう努めている。

13. 令和4年度事業報告附属明細書について

令和4年度事業報告で、社会福祉法第45条の27第2項の規定により作成する事業報告の附属明細書は、社会福祉法施行規則第2条の25第3項で規定する事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していない。